

屋外設置形 (BL 認定品)

ガス給湯器 取扱説明書

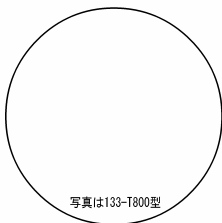
保証書付

型番

| | | |
|------------|------------|------------|
| 133-T800 型 | 133-T810 型 | 133-T820 型 |
| 133-T802 型 | 133-T812 型 | 133-T822 型 |
| 133-T805 型 | 133-T815 型 | 133-T825 型 |

型式名

| | | |
|----------|-------------|----------|
| GS-2400W | GS-2000W-OG | GS-1600W |
| GS-2400T | GS-2000T-OG | GS-1600T |
| GS-2400B | GS-2000B-OG | GS-1600B |



写真は133-T800型

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書の内容をよくお読みいただき、保証期間・保証内容などをご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

| | |
|----------------------|---|
| ☆安全に正しくお使いいただくために・・・ | 1 |
| ☆必ずお守りください・・・ | 1 |
| ☆各部の名称とはたらき・・・ | 5 |

| | |
|--------------------------|---|
| ☆ご利用前の準備・・・ | 8 |
| ☆お湯を使うには（リモコンなしで使う）・・・ | 8 |
| ☆お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）・・・ | 8 |

— 台所リモコン〔138-0055型〕、増設リモコン〔138-0057型〕をご使用の場合 —

| | |
|------------------------|----|
| ☆浴槽にお湯張りをするには・・・ | 10 |
| 湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする・・・ | 10 |
| 湯量（お湯張り量）の設定・・・ | 11 |
| ☆浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）・・・ | 12 |
| ☆チャイムや音声ガイドの音量を調節する・・・ | 12 |

— 台所リモコン〔138-T001型〕、浴室リモコン〔138-T002型〕をご使用の場合 —

| | |
|---------------------|----|
| ☆浴槽にお湯張りをするには・・・ | 13 |
| お湯張り機能について・・・ | 13 |
| お湯張り機能を使ってお湯張りする・・・ | 13 |
| お湯張り温度・お湯張り量の設定・・・ | 14 |

| | |
|---------------------|----|
| ☆故障かな？と思ったら・・・ | 15 |
| お湯の出かた・・・ | 15 |
| 機器本体・・・ | 16 |
| リモコン・・・ | 16 |
| 機器本体・リモコン・・・ | 16 |
| リモコンにアラーム番号が出たとき・・・ | 17 |

| | |
|---------------------|-----|
| ☆冬期の凍結予防をするには・・・ | 18 |
| ☆点検ポイント・お手入れのしかた・・・ | 20 |
| ☆アフターサービスについて・・・ | 21 |
| ☆仕様一覧・・・ | 22 |
| ☆保証書・・・ | 裏表紙 |

お使いいただくまえに

使いかた

故障かな？と思ったら

長くお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

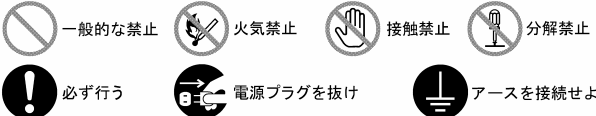
⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照)

参照ページを示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠️ 危険

屋内設置の禁止

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

⚠️ 警告

機器設置（および付帯工事）

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。
- 屋外設置形の機器は、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

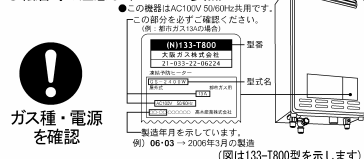


禁止



機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないとき不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発発火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 21 参照）



ガス種・電源を確認

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめ、給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ③お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。
- 全ての処置が終わるまでの間、絶対に
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



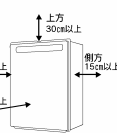
火気禁止

必ずお守りください

⚠️ 警告

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。
- 機器および排気口の周囲に紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周囲でわがわがタバコ・ペンチ・スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



困り禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による、一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

地震、火災などの緊急の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



給湯・シャワー使用時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用する時、またお湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出るので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。



手で温度を確かめる



異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P. 15 ~ 17 参照)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用前または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



接触禁止



ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置、移動、取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼してください。

必ずお守りください

⚠️ 注意

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。指し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグにほこりがたまるとう、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。



禁止

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

お願い

断水のと き

- 断水のと きは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

電源プラグを抜く

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、雷による一時的な過電流で安全装置（電流ヒューズ）等が作動していることが考えられます。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンや増設リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気当てをしないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいたらしくしないよう注意してください。



電気事故防止

- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



用途についての注意

アースを接続する

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽への湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。
- 別売リモコン（138-T001/T002型）を設置する場合は、ソーラーシステムと接続できません。

配管カバー（または握置台）についての注意

- 配管カバー（または握置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。（→P.20参照）

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使ひかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のために水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。

- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる

- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・湯量など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」（→P.18参照）に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P.20参照）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の機器の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするときにも、万一起色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼ファン音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ、脚立を使わずにメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが滞りないようしてください。機器の点検・修理のため、燃焼不良の発生を防止するためです。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食するおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日には排気ガスが白く見えます）



禁止



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P.18参照）に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 再使用するときは解凍するまで待ち、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「再使用するとき」（→P.19参照）の項以下の操作を行ってください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

地下水や温泉水、井戸水で使わない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内部に異物が付着したり、配管に穴があかないなど耐久性を損い水漏れする場合があります。機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼用の燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止



塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

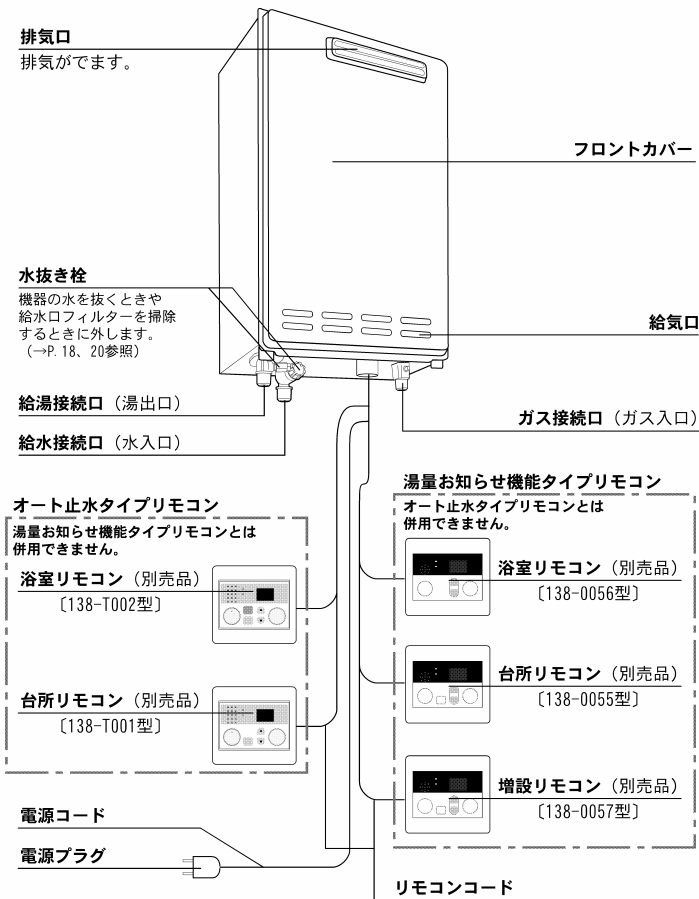
塩びん管の使用について

- 給水・給湯配管に塩びん管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩びん管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

お使いいただくまえに

各部の名称とはたらき

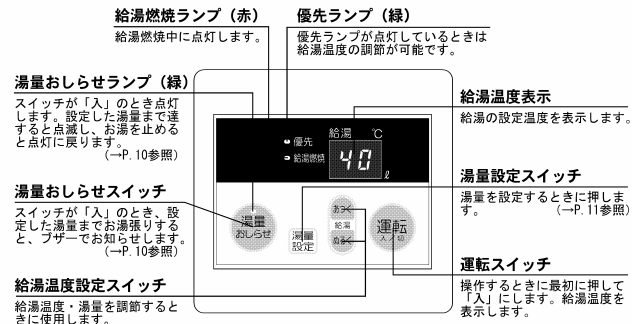
■機器本体(図は133-T800型を示します)



台所リモコン(138-0055型)、浴室リモコン(138-0056型)を取り付けている場合は、湯量お知らせ機能を使用できません。

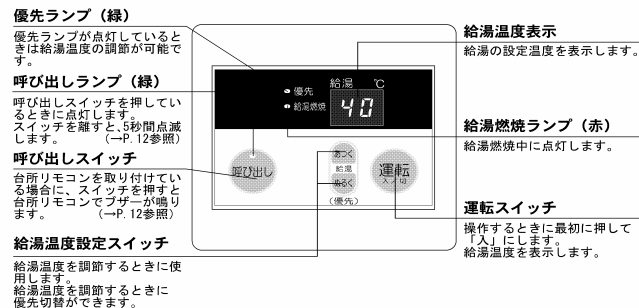
■台所リモコン [138-0055型](別売品)

(台所リモコン[138-T001型]、浴室リモコン[138-T002型]とは併用できません)
※防水タイプではありません。



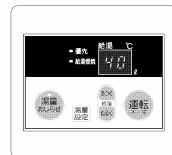
■浴室リモコン [138-0056型](別売品)

(台所リモコン[138-T001型]、浴室リモコン[138-T002型]とは併用できません)



■増設リモコン [138-0057型](別売品)

- 台所リモコン[138-T001型]または、浴室リモコン[138-T002型]とは併用できません。
 - 台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」/「切」や、給湯温度、湯量の設定が調節できます。
 - 各部の名称とはたらき、使用方法は台所リモコン(138-0055型)と同じです。
- ※防水タイプではありません。



お使いいただくまえに

各部の名称とはたらき

台所リモコン (138-T001型)、浴室リモコン (138-T002型) を取り付けている場合は、オート止水 (自動止水) が使用できます。

■ 台所リモコン [138-T001型] (別売品)

(台所リモコン [138-0055型]、浴室リモコン [138-0056型]、増設リモコン [138-0057型] とは併用できません)
※防水タイプではありません。

燃焼ランプ (赤)

給湯燃焼中に点灯します。

優先ランプ (緑)

優先ランプが点灯しているときは給湯温度の調節が可能です。

お湯張りランプ (緑)

お湯張りスイッチが「入」のとき点灯します。設定した湯量まで達すると点滅し、お湯張りスイッチを「切」にするまで消灯します。(→P.13参照)

給湯温度表示

通常は給湯温度を表示しています。また設定変更時には、お湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。

お湯張り温度変更モード表示
お湯張り温度変更モードのときに表示します。

お湯張り量変更モード表示
お湯張り量変更モードのときに表示します。

音量変更モード表示
音量変更モードのときに表示します。

お湯張りスイッチ

スイッチが「入」のとき、設定した湯量までお湯はりすると、出湯が停止して音声でお知らせします。その後給湯栓を閉じてください。(→P.13参照)

設定スイッチ

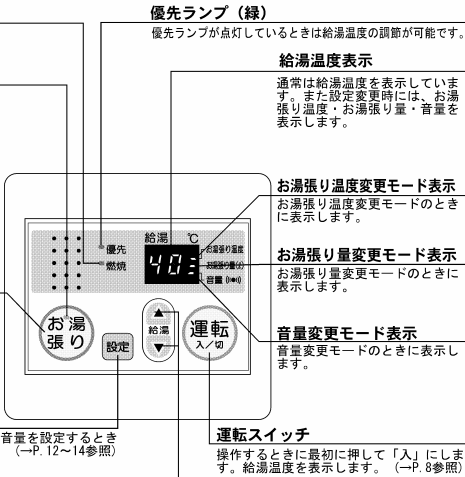
お湯張り温度、お湯張り量、音量を設定するときに押します。(→P.12~14参照)

給湯温度設定スイッチ

給湯温度、お湯張り温度、お湯張り量・音量を調節するときに使用します。

運転スイッチ

操作するときに最初に押して「入」にします。給湯温度を表示します。(→P.8参照)



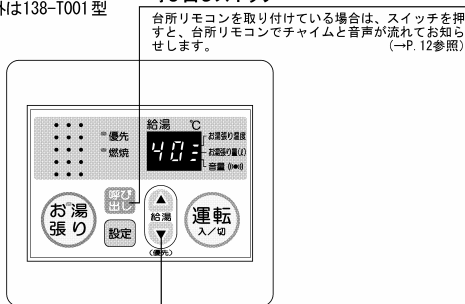
■ 浴室リモコン [138-T002型] (別売品)

(台所リモコン [138-0055型]、浴室リモコン [138-0056型]、増設リモコン [138-0057型] とは併用できません)

※説明は台所リモコン138-T001型との違いのみ説明します。それ以外は138-T001型の説明をご覧ください。

呼び出しスイッチ

台所リモコンを取り付けている場合は、スイッチを押すと、台所リモコンでチャイムと音声がお知らせします。(→P.12参照)



給湯温度設定スイッチ

給湯温度、お湯張り温度、お湯張り量・音量を調節するときに使用します。給湯温度を調節するときに優先切替ができます。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| <p>1 機器や機器周辺の点検・確認を行います 「点検のポイント」(→P.20参照)に従って、点検・確認を行います。</p> | <p>2 給水元栓を全開にします 機器の下にあります。</p> | <p>3 給湯栓を開けます 水が出ることを確認して、給湯栓を閉じます。</p> | <p>4 ガス栓を全開にします 機器の下にあります。</p> | <p>5 電源プラグを差し込みます コンセントは機器周辺部にあります。</p> |
|---|--|--|---|--|

お湯を使うには (リモコンなしで使う)

給湯栓を開けば、お湯が出ます。お湯の温度は約60°Cの高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>1 給湯栓を開けてお湯を出します</p> | <p>2 水を混ぜて温度を調節します 使い終わったら給湯栓・給水栓を閉じてお湯を止めます</p> |
|--------------------------------|---|

警告

- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

- 混合水栓にはサーモスタット付き、シングルレバータイプ、止水機能付きなどさまざまな種類があります。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は別売品の台所リモコン、浴室リモコンからも操作できます。

| 台所リモコン [138-0055型] | 浴室リモコン [138-0056型] | 台所リモコン [138-T001型] | 浴室リモコン [138-T002型] |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | | |

1 運転スイッチを「入」にします

運転スイッチを押します。

表示

給湯温度

運転「入」になると給湯温度を表示します。

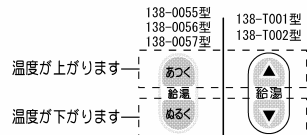
※図は、138-0055型を示していますが、各リモコンとも操作方法は同じです。

お使いいただくまえに

使いかた

お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

2 給湯温度を調節します



給湯温度は以下の14段階から選べます。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ご使用の目安 | (単位: °C) | | | | | | | | | | | | | |
| | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 50 | 55 | 60 |
| 夏期など | シャワー・給湯など | 給湯など | | | | | | | | | | 高温 | | |

※: 工場出荷時

3 給湯栓を開けてお湯を出し、使い終わったら閉じます

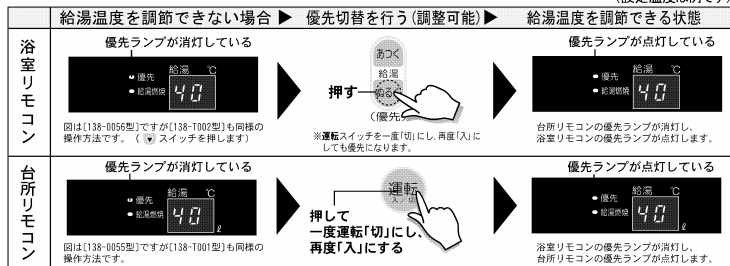


給湯燃焼ランプが消灯します。ただし、他の給湯栓でお湯が使われているときは消灯しません。

■優先切替について (給湯温度を調節できるリモコンの切替えを「優先切替」といいます)

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度が調節できます。優先ランプが消灯している場合は、下記の手順で優先ランプを点灯させてから給湯温度を調節してください。(浴室リモコン・台所リモコンの両方がある場合)

(設定温度は例です)



お湯を使うときの注意

- 警告** ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。
●シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

●ご注意ください

- 給湯栓を閉じても再使用時の点火をより早くするため、機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- お湯を1時間以上連続使用した際、お湯が出なくなります。その際は、給湯栓を一度閉じてから再度、給湯栓を開けてお使いください。

●お願い

- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なくて給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。

お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

給湯温度を調節するときの注意

●ご注意ください

- 台所リモコン (138-T001型)、浴室リモコン (138-T002型) をお使いの場合、50°C以上に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください。”と2回お知らせします。

●お願い

- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°C以上には設定できません。60°C以上に設定しようとする“ビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°Cに設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40°Cになります。再度セットし直してください。

●X.M

- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合、自動的に55°Cにセットし直されます。
- 別売の増設リモコン (138-0057型) を設置している場合
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先になります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先ランプが点灯し、台所リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

浴槽にお湯張りをするには

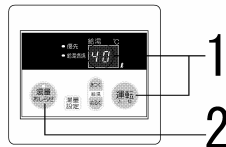
台所リモコン [138-0055型]、増設リモコン [138-0057型] をご使用の場合

■湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする

■湯量おしらせ機能について

[138-0055型、138-0057型]

設定した湯量になると、台所リモコンのブザーが約10秒鳴ってお湯が張られたことをお知らせします。お湯は自動的に止まりませんので給湯栓を閉じてください。



| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>給湯温度を表示します。</p> | <p>2 湯量おしらせランプの点灯を確認します</p> <p>消灯している場合は、湯量おしらせスイッチを押して点灯させます。</p> | <p>3 お風呂の栓をして、給湯栓を開けます</p> <p>点灯</p> <p>給湯燃焼ランプが点灯します。</p> | <p>4 台所リモコンのブザーが鳴ったら給湯栓を閉じます</p> <p>ブザーが鳴り、湯量おしらせランプが点滅したら、給湯栓を閉じます。</p> <p>消灯</p> <p>給湯燃焼ランプが消灯します。</p> |
|---|---|---|---|

湯量おしらせ機能を解除するには

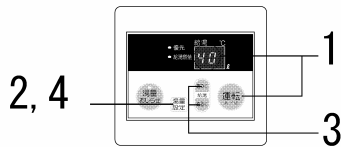
この機能を使用しない場合は、湯量おしらせスイッチを押して、湯量おしらせランプを消灯させてください。

浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン [138-0055型]、増設リモコン [138-0057型] をご使用の場合

■湯量（お湯張り量）の設定

湯量（お湯張り量）は工場出荷時、180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|------|------|------|------|------|----|----|----|----|-----|------|------|------|------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| <p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示</p> <p>給湯温度を表示します。</p> | <p>2 湯量設定スイッチを押します</p> <p>点滅</p> <p>湯量が点滅します。</p> | <p>3 湯量を調節します</p> <p>湯量が増えます ← 点滅 湯量が減ります ← 点滅</p> <p>リモコンには下1桁の“0”が表示されません。 例) 200ℓ → 20</p> <p>湯量は以下の16段階から選べます。</p> <table border="1"> <tr> <td>表示</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>50ℓ</td> <td>120ℓ</td> <td>140ℓ</td> <td>160ℓ</td> <td>180ℓ</td> <td>200ℓ</td> <td>220ℓ</td> <td>240ℓ</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>260ℓ</td> <td>280ℓ</td> <td>300ℓ</td> <td>320ℓ</td> <td>340ℓ</td> <td>360ℓ</td> <td>400ℓ</td> <td>500ℓ</td> </tr> </table> <p>工場出荷時には180ℓに設定されています。</p> | 表示 | 5 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 | 22 | 24 | 設定 | 50ℓ | 120ℓ | 140ℓ | 160ℓ | 180ℓ | 200ℓ | 220ℓ | 240ℓ | 表示 | 26 | 28 | 30 | 32 | 34 | 38 | 40 | 50 | 設定 | 260ℓ | 280ℓ | 300ℓ | 320ℓ | 340ℓ | 360ℓ | 400ℓ | 500ℓ | <p>4 湯量設定スイッチを押します</p> <p>表示</p> <p>給湯温度が表示します。</p> <p>湯量設定スイッチを押さなくても、約5秒たつと設定が終了して、給湯温度を表示します。</p> |
| 表示 | 5 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 | 22 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設定 | 50ℓ | 120ℓ | 140ℓ | 160ℓ | 180ℓ | 200ℓ | 220ℓ | 240ℓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表示 | 26 | 28 | 30 | 32 | 34 | 38 | 40 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設定 | 260ℓ | 280ℓ | 300ℓ | 320ℓ | 340ℓ | 360ℓ | 400ℓ | 500ℓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- お願い**
- 浴槽の種類によっては、あまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
 - 湯量（お湯張り量）は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後、再通電したときは、180ℓになりますので、再設定してお使いください。

注意 ● 入浴するときは十分かきまげ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

- お願い**
- 湯量おしらせ機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
 - 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に台所などの場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。（例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入ったところでブザーが鳴ります）
 - お湯張り完了のブザーが鳴る前に、次のことを行った場合、湯量カウントが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
 - ① 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に一度すべての給湯栓を閉じたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りしたとき。
 - ② 運転スイッチを一度「切」にして、再度「入」にしたとき。
 - お湯張り中に優先を切替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切替えないでください。
 - サーマスタック付き混合水栓をお使いの場合、水栓の設定温度をリモコンの設定温度より高くしてお湯張りを行ってください。低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタック付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

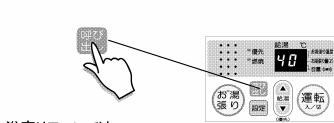
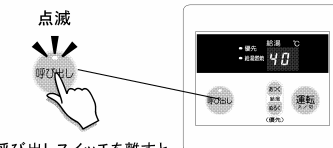
浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムを鳴らして知らせます。

浴室リモコン [138-0056型] の場合

浴室リモコン [138-T002型] の場合

呼び出しスイッチを押します

呼び出しスイッチを押します



呼び出しスイッチを離すと、呼び出しランプが5秒間点滅します。台所リモコンでは“ピーピーピー……”と鳴ってお知らせします。

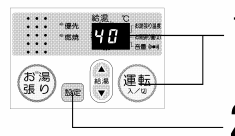
浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。台所リモコンではチャイムが鳴り、“お風呂で呼んでいます”と2回鳴ってお知らせします。

- 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- インターホンの機能は付いていません。
- 浴室リモコンと台所リモコンを両方取り付けていない場合、浴室からの呼び出しは使えません。

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

音声ガイドの機能が付いているリモコン（138-T001型、138-T002型）をお使いの場合は、チャイムや音声ガイドの音量を大きくしたり、小さくしたり、無音にしたりすることができます。それぞれのリモコンで、別々に設定できますので、お好みに合わせて調節してください。

| | |
|---|--|
| <p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示</p> <p>給湯温度を表示します。</p> | <p>2 設定スイッチを数回押し、音量変更モード表示にします</p> <p>点滅 点灯</p> <p>音量</p> <p>音量変更モード表示が点灯し、音量の数字が点滅します。</p> |
| <p>3 音量を調節します</p> <p>音量が大きくなります ↑ 給湯 音量が小さくなります ↓</p> <p>音量は以下の4段階から選べます。</p> <p>0(無音) 1(小) 2(中) 3(大)</p> <p>■:工場出荷時</p> <p>▲・▼ スイッチは、音量の数字が点滅している間に押します。 ▲・▼ スイッチで入力後、しばらくたつと確定となります。</p> | |



※図は、138-T001型を示していますが、138-T002型も操作方法は同じです。

- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、台所リモコンの呼び出し音声「大」で流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ビッ”という音の音量は調節できません。

使いかた

浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン[138-T001型]、浴室リモコン[138-T002型]をご使用の場合

■お湯張り機能について

浴槽にお湯張りをするときには、お湯張り機能を使うとお湯の入れすぎがなくなります。

設定した湯量になると自動的に出湯を停止し、台所リモコン、浴室リモコンの両方でチャイムと音声ガイドがお知らせします。

お湯張りを途中で止めたいときは

給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してお湯張りランプを消灯させます。

お湯張り中に停電があったときは

水が流れたままになります。給湯栓を閉じて、浴槽を空の状態にしてから、お湯張りをやり直してください。

■お湯張り機能を使ってお湯張りする

初めて操作するときは、工場出荷時の設定になっています。お湯張り温度：40℃、お湯張り量：180ℓ

1 運転スイッチを「入」にします



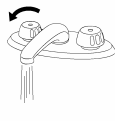
給湯温度を表示します。

2 お湯張りスイッチを押します



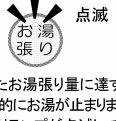
お湯張りランプが点灯します。チャイムが鳴り、音声ガイドが2回鳴ります。
“お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから、
蛇口を開けてください。”

3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます



点灯
“お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから、
蛇口を開けてください。”

4 音声ガイドが鳴ったら給湯栓を閉じます



設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります。お湯張りランプが点滅して、チャイムが鳴り、音声ガイドが2回流れます。
“おふろに入れます
蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください。”

5 お湯張りスイッチを押します



消灯
お湯張りランプと燃焼ランプが消灯します。

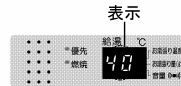
※音声ガイドでお知らせします“蛇口”は、給湯栓のことをいいます。
注意 ●入浴するときは十分かきまげ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

- お願い**
- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
 - お湯張り機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使った、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドがお知らせします)
 - お湯張り中には優先の切替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、“お湯張りをしています”と2回お知らせして受け付けません。
 - お湯張りが終わった後はまずは早めに給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。給湯栓を閉じるまで他の給湯栓を開けてもお湯はできません。
 - お湯張り機能を使ってお湯張りした後、給湯栓を閉じる前にお湯張りスイッチを押すと、給湯栓から水が流れ、その後自動的に止まります。チャイムが鳴り、“蛇口が開いています” 蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”とお知らせし、リモコンに「CL」を点滅表示します。お湯張りが終わったら、必ず給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。
 - リモコンに「CL」が点滅表示されたら、給湯栓を閉じてからお湯張りスイッチを押して解除してください。

■お湯張り温度・お湯張り量の設定

工場出荷時は、お湯張り温度40℃、お湯張り量180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。

1 運転スイッチを「入」にします



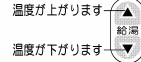
給湯温度を表示します。

2 設定スイッチを押します



お湯張り温度変更モード表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

3 お湯張り温度を調節します



温度が上がります
温度が下がります
▲・▼スイッチは、お湯張り温度が点滅している間に押します。お湯張り温度は以下の12段階から選べます。ご使用の目安 (単位:℃)

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| ぬるい | | 標準 | | | | | | | | あつい | |

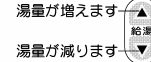
工場出荷時
続けてお湯張り量を設定するときは、お湯張り温度が点滅している間に4へ進んでください。

4 設定スイッチを押します



お湯張り量変更モード表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 お湯張り量を調節します



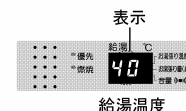
量が増えます
量が減ります
▲・▼スイッチは、お湯張り量が点滅している間に押します。リモコンには下1桁の“0”が表示されません。
例) 200ℓ → 20

湯量は以下の16段階から選べます。

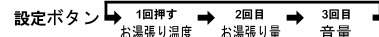
| | | | | | | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 表示 | 5 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 | 22 | 24 |
| 設定 | 50ℓ | 120ℓ | 140ℓ | 160ℓ | 180ℓ | 200ℓ | 220ℓ | 240ℓ |
| 表示 | 26 | 28 | 30 | 32 | 34 | 36 | 40 | 50 |
| 設定 | 260ℓ | 280ℓ | 300ℓ | 320ℓ | 340ℓ | 360ℓ | 400ℓ | 500ℓ |

工場出荷時には180ℓに設定されています。

▲・▼スイッチで入力後、しばらくつと確定となります。給湯温度表示に戻ります。



- お願い**
- 浴槽の種類によっては、お湯張り量をあまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
 - お湯張り温度、湯量は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあと再通電したときは、お湯張り温度40℃、湯量180ℓになりますので再度設定しておください。
 - サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の水量を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽にあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご利用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。
 - お湯張りが終わった後に給湯栓を閉じないと、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。その後チャイムが鳴り、音声ガイドが“蛇口が開いています。蛇口を開けてから、お湯張りスイッチを押してください。”とお知らせします。そのまま10分以上給湯栓が閉じられないと、リモコンに「CL」が点滅表示されます。「CL」表示になると、給湯栓から水は出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。
 - 1分間隔で給湯栓から水が出るのは、給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認する動作です。
 - 設定スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けてセットすることができます。設定スイッチは以下のように操作します。



故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき

故障ではありません

給湯栓を開いてもすぐに
お湯が出ない

最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。

夏などぬるいお湯が出ない

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなることがあります。

冬などあついお湯が出ない

お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。

給湯栓を絞らずに水にな
った

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。

お湯が白く濁って見える

水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

給湯栓を開けたとき、
お湯の量が変動する

湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。

こんなとき

ここを調べてください

あついお湯が出ない

◎湯温調節は適切ですか (→P.9参照)
◎ガス栓が全開になっていますか (→P.8参照)

ぬるいお湯が出ない

◎湯温調節は適切ですか (→P.9参照)
◎給水口フィルターが詰まっていますか (→P.20参照)
◎給湯栓が十分開いていますか (→P.8,9,10,13参照)
◎給水元栓が全開になっていますか (→P.8参照)

お湯が出ない
(運転しない)

◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか (→P.8参照)
◎停電していませんか (→P.3参照)
◎ガス栓が全開になっていますか (→P.8参照)
◎給水元栓が全開になっていますか (→P.8参照)
◎給水口フィルターが詰まっていますか (→P.20参照)
◎給湯栓が十分開いていますか (→P.8,9,10,13参照)
◎断水していませんか (→P.3参照)
◎凍結していませんか (→P.19参照)
◎お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか (→P.9参照)
◎ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
◎LPガスの場合、ガスがなくなっていますか

家中のお湯が出なくなった

◎お湯張り機能を使ってお湯張りしたあとお湯張りスイッチを解除しましたか (→P.13参照)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■機器本体

こんなとき

故障ではありません

寒い日に排気口から白い湯
気が出る

冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

出湯停止後も燃焼ファンの
回転音がする

再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。

給湯栓を閉じると、給湯側
の水抜き栓から一瞬水が漏
れる

給湯側の水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき

ここを調べてください

運転中に機器から異常音が
する

点検依頼をしてください。

■リモコン

こんなとき

ここを調べてください

画面表示しない

◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか (→P.8参照)
◎停電していませんか (→P.3参照)

アラーム番号が表示された

アラーム番号を確認してください。 (→P.17参照)

■機器本体・リモコン

こんなとき

ここを調べてください

給湯燃焼ランプが点灯しない
(運転しない)

◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか (→P.8参照)
◎停電していませんか (→P.3参照)
◎ガス栓が全開になっていますか (→P.8参照)
◎給水元栓が全開になっていますか (→P.8参照)
◎給水口フィルターが詰まっていますか (→P.20参照)
◎給湯栓が十分開いていますか (→P.8,9,10,13参照)
◎断水していませんか (→P.3参照)
◎凍結していませんか (→P.19参照)
◎ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
◎LPガスの場合、ガスがなくなっていますか
上の10項目を確認して※リセット操作をしてください。

※リセット操作

・別売品のリモコンを付けている場合は、運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。
・本体操作の場合は、一度給湯栓を閉じ、約5秒後に再度給湯栓を開けてください。

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

■リモコンにアラーム番号が出たとき

不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

右図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。

※図は、138-0055型を示しますが、各リモコンとも同様に表示します。



台所リモコン
[138-0055型]

| 本体表示 | アラーム番号 | 原因 | 処置 |
|------------|---------|---------------------------|--|
| 燃焼ランプ1回点滅 | 701 | 制御基板異常のため | ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、5秒後運転スイッチを「入」にしてお使いください。 |
| | 031 | ガス種選択異常 | |
| 燃焼ランプ2回点滅 | 311 | 温度検出器の故障のため | それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼してください。 |
| 燃焼ランプ3回点滅 | 111 121 | 火がつかないときや、使用中に火が消えてしまったため | |
| | 510 511 | ガス回路の故障のため | |
| | 721 | 燃焼系の故障のため | |
| 燃焼ランプ4回点滅 | 611 | 燃焼ファンの故障のため | 機器の使用はできますが、十分な能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。 |
| | 741 751 | 通信異常 | |
| ※燃焼ランプ2回点滅 | 391 | 燃焼異常検知装置の故障のため | ※：リモコンを取付けないで使用している場合は、機器の使用はできませんので修理を依頼してください。 |
| 燃焼ランプ2回点滅 | CL | お湯張り終了後、お湯張り機能が解除されていません | 給湯栓を閉じて、お湯張りスイッチを押してください。(→P.13参照) |
| 燃焼ランプ3回点滅 | 991 | 燃焼異常が発生したため、燃焼異常検知装置が作動した | 修理を依頼してください。 |
| 燃焼ランプ5回点滅 | 101 | 燃焼異常が発生したため、燃焼異常検知装置が作動した | 機器の使用はできますが、十分な能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。 |
| 燃焼ランプ5回点滅 | 011 | 1時間以上、連続燃焼したため | 給湯栓を閉じてください。 |

●アラームの本体表示
リモコンを取付けないで使用している場合に異常が起きたときは機器内部の制御基板上の燃焼ランプでアラームの表示をします。

■こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒータが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121)・・・立消え安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。・・・空だき安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について(通常の寒さ)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

- 【お願い】 ●凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ると作動しませんのでご注意ください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなとき(外気温-15℃以下やそれ以上の気温でも風がある日)は、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

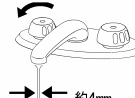
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 別売のリモコンを取り付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンがない場合は電源プラグを抜きます。

- 3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後もう一度流量を確認してください。



- 2 ガス栓を閉じます。

- 【お願い】 ●通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開いて水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4参照)
●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

- 【メモ】 ●1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 【注意】 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

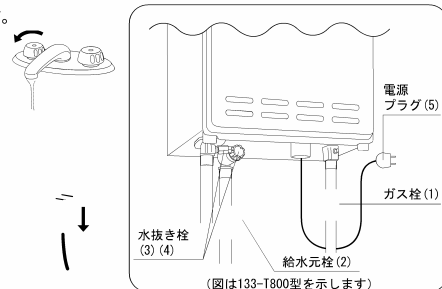
- 1 ガス栓(1)、給水元栓(2)を閉じます。

- 2 すべての給湯栓を全開にします。

- 3 水抜き栓(3)(4)を外して、水が出ることを確認します。

- 4 必ず電源プラグ(5)を抜きます。

電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。



(図は133-T800型を示します)

故障かな?と困ったら、長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき 機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

1 水抜き栓 (3) (4) およびすべての給湯栓を閉じます。

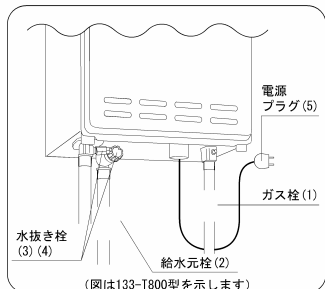


2 給水元栓 (2) を開けて、すべての給湯栓から水が出ることを確認します。

機器や配管より水漏れがないか確認してください。

3 電源プラグ (5) をコンセントに差し込みます。

4 ガス栓 (1) を開けます。



■凍結してしまったとき 凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

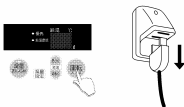
1 ガス栓 (1) を閉じます。

4 ときどき給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら、機器および配管から水漏れがないか確認してください。

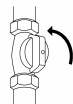
2 給水元栓 (2) を閉じます。配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。



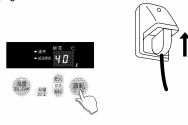
3 別売品のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は、電源プラグを抜きます。



5 ガス栓 (1) を開けます。



6 別売品のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを「入」にします。リモコンを取り付けていない場合は電源プラグをコンセントに差し込みます。



⚠️注意 ●配管カバー (または据置台) のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 20 参照)

●お願い ●床などに水が流れては不都合な場所で水抜きをするときは、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをした後に再使用するときには、水抜き栓を元通り確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額の修理費用 (有料) がかかる場合があります。(凍結により破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります)
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント (月1回程度) 次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をけます。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか?
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られませんか?
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?



また、整然とさせていただきますか?

機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然していると、機器の内部に害虫 (ゴキブリなど) が侵入したり、くもの巣がはたっして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれていませんか?

給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■お手入れのしかた (月1回程度)

●機器本体およびリモコンの掃除

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。



●給水口フィルターの掃除

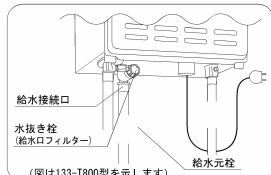
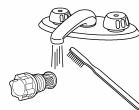
給水口フィルターがつかまつるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1 給水元栓を閉めます。

2 給水接続口にある水抜き栓 (給水口フィルター) を外します。

3 歯ブラシなどで洗います。

4 元のように取り付けます。



■定期点検のおすすめ (有料)

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

●配管カバー (または据置台) のフロントカバーについて

配管カバー (または据置台) のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジをしっかりと締める。



⚠️警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、けがなどないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

●お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 15~17参照)の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)型番:(例)133-T800型
ガスの種類:(例)13A
※銘板をご覧ください。(→P. 1参照)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格、技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの風温や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス栓を閉じます。
- (2) 給水元栓を閉じます。
- (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 18参照)
- (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

■仕様表

| 項目 | 内容 | | |
|-----------------|--|---|--|
| 型番 | 133-T800型 133-T802型 133-T805型 | 133-T810型 133-T812型 133-T815型 | 133-T820型 133-T822型 133-T825型 |
| 型式名 | GS-2400W GS-2400T GS-2400B | GS-2000W-0G GS-2000T-0G GS-2000B-0G | GS-1600W GS-1600T GS-1600B |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) | 幅350×奥行215×高さ520/16 | | 幅350×奥行170×高さ520/14 |
| 種類 | 先止め式 | | |
| 設置方式 | W: 屋外壁掛設置形 PS設置形標準設置 | T: PS扉内設置形 前方排気延長 | B: PS扉内設置形 後方排気延長 |
| 点火方式 | AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | | |
| 使用水圧 | 150~500kPa(1.5~5.0kgf/cm ²) | | |
| 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | |
| 接ガス | 15A(R1/2) オネジ | | |
| 給水 | 20A(R3/4) オネジ | 15A(R1/2) オネジ | |
| 給湯 | 20A(R3/4) オネジ | 15A(R1/2) オネジ | |
| 電源 | AC100V(50/60Hz) | | |
| リモコン側 | 24V以下 | | |
| 消費電力 | 無負荷時 3W | 使用時 W: 52W T, B: 72W | 凍結予防時 W: 47W T, B: 58W W: 42W T, B: 51W |
| 電源コード | 106V VCT(2心) 機外長2.0m | | |
| 安全装置 | 空だき防止装置(水量センサ) ファン回転検知装置(回転検知方式) 電流ヒューズ(過電流防止装置) 漏電安全装置(漏電スイッチ) | 凍結予防ヒータ(ヒータ) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) | 立消え安全装置(フ列ムロード) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) |
| 付属品 | 取扱説明書(保証書付)・工事説明書等 | | |
| 別売品 | 台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコン等 | | |

■能力表

| 型式名 | 使用ガス 使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h] | 出湯能力(最大時)(ℓ/min) | | ガス接続 |
|-------------------------------------|------------------|----------------------------------|------------------|----------|---------------|
| | | | 水温+25℃上昇 | 水温+40℃上昇 | |
| 133-T800型 133-T802型 133-T805型 | 都市ガス 13A LPガス | 50.0 [43,000] 50.1 [3,58kg/h] | 24.0 | 15.0 | 15A (R1/2) |
| 133-T810型 133-T812型 133-T815型 | 都市ガス 13A LPガス | 41.9 [36,000] 42.0 [3,00kg/h] | 20.0 | 12.5 | |
| 133-T820型 133-T822型 133-T825型 | 都市ガス 13A LPガス | 33.7 [29,000] 33.9 [2,42kg/h] | 16.0 | 10.0 | |

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa[2.0kgf/cm²]のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。